



サイコー（裁工）

SAIKO

鹿児島水産高等学校
海洋科栽培工学コース

第五号
平成27年7月



種苗生産終了、ヒラメ放流

鹿児島市喜入・南九州市穎娃町



放流前のヒラメのお話



元気に育てと
願いを込めて

6月23日に鹿児島市喜入で、中名小学校6年生の皆さんと本コースで育てたヒラメの放流を行いました。当日は移動中雨が降るなど天気心配されましたが、小学生の元気が雨雲を吹き飛ばしてくれて無事放流することができました。放流前後には、鹿児島市出身の田平さん・橋村君（谷山北中出身）によるヒラメ種苗生産の説明や小学生の質問に答える場面もあり、良い放流となりました。

2015年(平成27年)6月27日 土曜日 地域総合 18

みなみネット

kagoshima local network



鹿児島水産高校の生徒が見守る中、ヒラメを放流する小学生ら
—南九州市の石垣漁港

水産の魅力 児童ら体験

南九州市の水産体験学習が22日、同市嶺娃の石垣漁港であった。同市と鹿児島水産高校（枕崎市）が小学生を対象に開いており、今年で10回目。過去最多となる7校の25年生77人が参加。高校生と交流しながら水産の魅力を学んだ。同高の海洋栽培工学科コースの3年生16人が先生役。学校で育てたヒラメを放流して、自分たちが育てたヒラメを小学生が放流してくれたいと笑顔。霜出小5年の中野楓君は「初めてヒラメに触った。放流も面白かった。水産高校に行ってみたい」と話し

水産教室

南九州市内7つの小学校から77名の小学生が参加して水産教室が行われました。本校では、ヒラメ放流・環境・タッチ・ル・水中の世界をのぞいてみようの4つのコーナーを設け、3年生16名がそれぞれ懸命に説明していました。最後の質問タイムでは鋭い質問にタジタジ・・・でした。



南九州市内7つの小学校から77名の小学生が参加して水産教室が行われました。本校では、ヒラメ放流・環境・タッチ・ル・水中の世界をのぞいてみようの4つのコーナーを設け、3年生16名がそれぞれ懸命に説明していました。最後の質問タイムでは鋭い質問にタジタジ・・・でした。

人前で話す

鹿児島水産高2年 下池美珠々々
5月に行われた「ばんどころ絶景祭り」に参加しました。この祭りは地域の方々が企画運営しているもので、鹿児島水産高校も昨年からは展示・体験コーナーを設置して参加するのと同時に、お客さんの誘導など運営のお手伝いもしました。

人前で話す
鹿児島水産高2年 下池美珠々々
5月に行われた「ばんどころ絶景祭り」に参加しました。この祭りは地域の方々が企画運営しているもので、鹿児島水産高校も昨年からは展示・体験コーナーを設置して参加するのと同時に、お客さんの誘導など運営のお手伝いもしました。

今回私はフォトフレームに貝殻やマリングラスを飾り付けるマリンアートコーナーや、アクアクラブで種苗生産しているメダカの販売を担当しました。説明や販売など、慣れないことはかりで最初はとてつもなく緊張しました。もともと人前で話すことが苦手な私は、お客さんに声をかけることができず苦労していました。しかし、先輩の姿を見ながら徐々にできるようにな

若い日

若い目への投書も盛んに
行っています。色々なこ
ろで生徒が活躍してくれ
るのが楽しみです。



ダイビングシューズ到来

本コースでは、環境保全活動や、将来の進路に生かすことを目指してダイビングに取り組んでいます。夏を迎え大変暑くなってきました。この時期に合わせ、ダイビング練習を行ってまいります。二学期には指宿市や肝付町高山での藻場再生実習も控えておりそれに向けて準備を進めています。

本コースでは、環境保全活動や、将来の進路に生かすことを目指してダイビングに取り組んでいます。夏を迎え大変暑くなってきました。この時期に合わせ、ダイビング練習を行ってまいります。二学期には指宿市や肝付町高山での藻場再生実習も控えておりそれに向けて準備を進めています。